

MRI 検査を受けられる方へ

MRI 検査とは

磁気共鳴画像といわれ、強い磁石と電波を使って体内の様子をさまざまな角度から断層画像にします。寝台に横たわりトンネル状の装置に入ってじっと動かないいただきます。

検査時間は通常 20~30 分程度です。

検査中は、周囲からトントン、ガーガーと連続音がします。ヘッドホン等で対応いたしますが、うるさく感じるのは辛抱してください。

検査部位によっては、多少暑く感じるがありますが人体へは影響ありません。

検査中に気分が悪くなったり、何か伝えたい事がありましたら検査前にブザーのスイッチを渡しますのでそれを押してお知らせ下さい。

MRI 検査を受けることができない方

MRI 検査で使われる磁気や電波は、普通の場合は人体への影響はありません。

ただし、次のような方は MRI 検査を受けられないことがありますので、医師か看護師または担当技師にあらかじめお知らせ下さい。

- 心臓ペースメーカーを装着している方
- ステント留置 2 か月以内の方
- MRI 非対応脳動脈クリップが体内に入っている方
- 神経刺激装置、人工内耳、埋込み型除細動器等の電氣的、機械的動作する装置を装着している方
- 脳脊髄液短絡術用圧可変式シャント等の磁氣的に調整する装置を装着している方
- 磁力により装着する義眼や義歯、導尿用の管（おしっこの管）をされている方
- 入れ墨〈眉毛などのアートメイクも含む〉をされている方（変色したり、ヤケドする可能性があります）
- 妊娠、または妊娠されている可能性のある方（胎児に対する安全性が確立されていない為）
- ケガなどで体内に異物（弾丸や金属片等）が入っている方

その他、閉所恐怖症の方や手術等で体内に上記以外の器具を入れておられる方も MRI 検査を受けられないことがあったり、検査方法を変更したりすることがありますのでお知らせください。

MRI 検査前の準備

MRI 検査では、どの撮影部位でもほぼ全身を強い磁場の中に身を置くことになります。

そのため持ち込んだり身につけていたり出来ない物があります。それらは、故障したり検査に影響したり、危険であったりします。検査前に必ず取り外し、持ち込まないでください。

- 金属類・・・時計、携帯電話、メガネ、ネックレス、指輪、ヘアピン、補聴器、鍵、コイン、入れ歯、エレキバン、金属類のネイルケア用品、ピアス、ベルト、ファスナーや金属のボタンや糸のある衣類、ホックやワイヤーのある下着など
- 磁気カード・・・キャッシュカード、定期券、マイナンバーカード、診察券、など磁気記憶媒体
- その他・・・カイロ、湿布、カラーコンタクトレンズ、金属部分のある貼り薬、金属成分を含む化粧品、遠赤外線又は保温性が非常に高い衣類や下着（ヒートテック等）

※マスカラやアイシャドウなどの化粧品やラメが入った化粧品は金属成分が含まれている為、検査前に落としておいてください。（ヤケドの可能性があり、画像にも影響を与えることがあります。）

※カラーコンタクトをつけたままでの検査はできませんので、ケースをご持参下さい。

※更衣室には検査着を準備しております。必要な方には着替えていただきます。